

comtel+ T46S

端末操作マニュアル



SIP-T46S

電話端末 各部名称と働き



No	名称	内容
1	LED状態 インジケータ	着信、不在着信などを お知らせします
2	カーソルキー	<待受時> OKキー：状態を表示 <その他> 上下左右キー：選択 ×キー：キャンセル
3	スピーカーフォンキー	受話器を置いたまま、 電話をかけることができます
4	ボリュームキー	<通常時> 着信音量を調整することが できます <通話時> 受話音量を調整することが できます
5	ラインキー (パーク)	パーク保留をすることができます
	ラインキー (800,801…)	パーク保留中の通話を再開できます
6	ソフトキー	ディスプレイに表示されている 機能を使用することができます

■ 電話のかけ方/取り方

◆ 電話をかける

発信したい番号をダイヤルし、**受話器を上げる**。
(受話器を上げてからダイヤルも可)

◆ 電話を取る

鳴動中に**受話器を上げる**。

◆ 終話する

通話終了後に**受話器を置く**。

※受話器を上げる、置く動きはスピーカーフォンキーでも対応可能です。

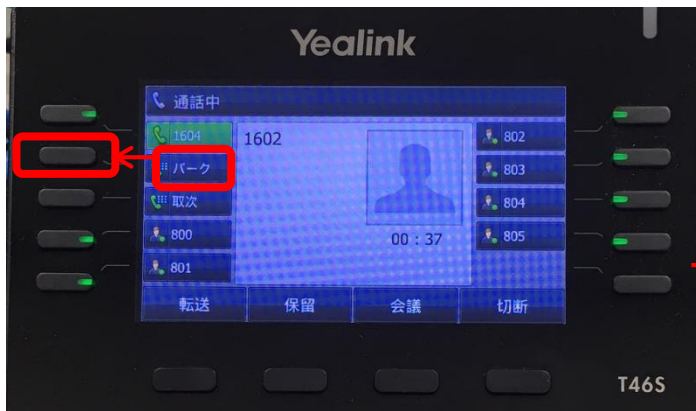
■パーク保留

◆通話をパーク保留する。

- ①通話中にラインキーの「パーク」を押下。
※相手先には保留音が流れます。

- ②アナウンスされるパーク番号を確認。

※通話は切れます。
※当該パーク番号のラインキーが
緑から赤に切り替わります。（画像は800）



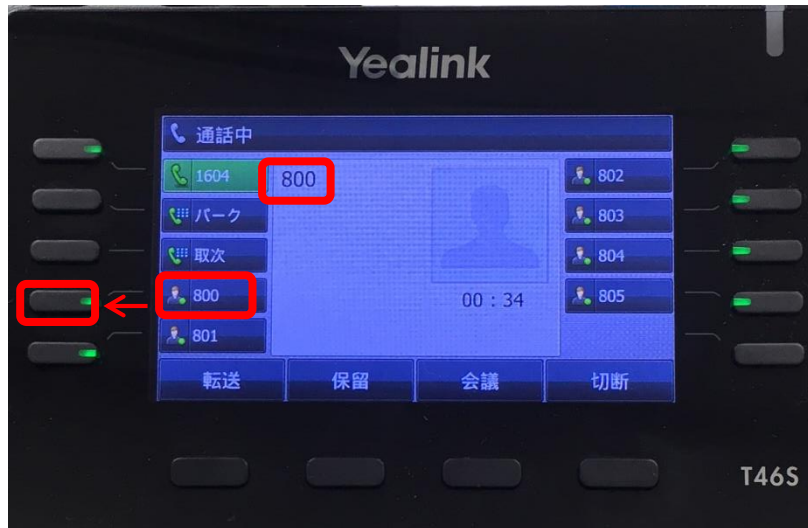
- ③転送先相手へパーク番号を伝達。

■パーク保留の受話

◆パーク保留中の通話を受話する。

ラインキーの伝えられたパーク番号を押下し、受話器をあげる。→通話相手が800に変わります。
(受話器を上げてから押下も可)

※画像は800

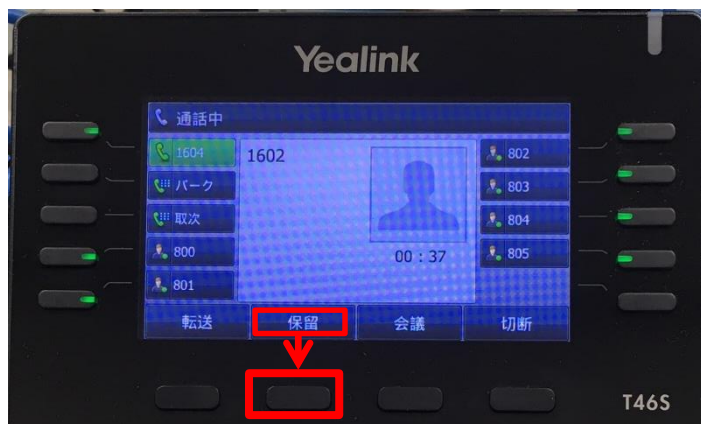


■ 自己保留

◆ 通話を保留する。

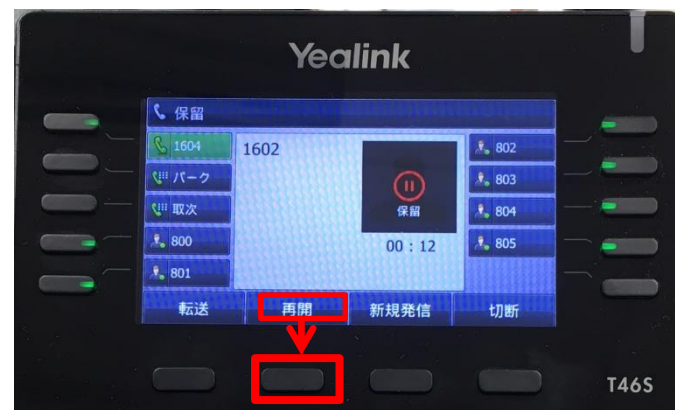
通話中にソフトキーの「保留」を押下。

※相手先には保留音が流れます。



◆ 保留中の通話を再開する。

ソフトキーの「再開」を押下。



■代理応答（ピックアップ）

◆代理応答をする

他端末が鳴動中に「00」をダイヤルして、受話器を上げる。

※「00」ダイヤル後の受話器を上げる動きはスピーカーフォンキーでも対応可能です。

■ 取次転送

- ①通話中にダイヤルキーの「*2」を押下。 ②転送先の内線番号をダイヤルし「#」を押す。
※相手先には保留音が流れます。

- ③転送先へ用件を伝え、
自身の通話を切ると転送が完了します。

上記はPBXシステム内の動作のため、全通話録音が残ります。

※保留の際に使用したソフトキー内の「転送」については、
端末間動作のため、転送後の通話録音は残りません。

■ 短縮ダイヤル

◆ 短縮ダイヤルを使用して発信をする

キーパッドで「88」に続けて短縮番号（3桁）をダイヤルし、
受話器を上げる。
（受話器を上げてからダイヤルも可）

※受話器を上げる動きはスピーカーフォンキーでも対応可能です。

※3桁の番号は管理者様用画面より、ご確認いただけます。

■ 複数着信が来た際の取り方

◆ 取りたい着信番号を選ぶ

複数着信時は右上に「1/2」のような同時着信数の表示が出るため、カーソルキーの上下で取りたい着信番号を選び、受話器を上げる。

※受話器を上げる動きはスピーカーフォンキーでも対応可能です。